

市民のみなさんの声とどけて奮闘

住民が主人公の政治実現に全力でがんばります!

日本共産党



昨年の決算委員会や9月議会12月議会でもたくさんの問題点を指摘し改善を訴えてきましたが、2015年度予算に関わっては国・府の動向も相まって市民にとって厳しい中身が次々と提案されてきます。対決・対案・共同をキーワードに日本共産党は市民のみなさんとスクラム組んで悪政の防波堤となる摂津市政に全力つくします。

国保

高すぎる国保料の引き上げストップを!

摂津市は、国民健康保険料を2014年度9千万円値上げした上に、2015年度さらに1億円の値上げを計画しています。摂津市の財政は府下トップクラス。一般会計から2013年度並みに繰り入れをすれば、値上げをする必要はありません。今でも高すぎる国民健康保険料に悲鳴が上がっています。市民に負担を押し付けず、保険料値上げはやめるべきです。



中小企業

アベノミクスで格差拡大 中小零細企業に直接支援を

企業立地促進制度は固定資産税の半額が奨励金。一昨年は大企業へ4億8千万円です。大企業優遇税制で法人市民税がゼロという企業もあります。中小企業は不況で経営が苦しいことが「実態調査」からもうかがえます。市内中小零細企業にはもっと直接的な支援をと日本共産党は「住宅リフォーム助成制度」「工場店舗の家賃助成制度」「小規模工事等事業者登録制度」の活用などを求めています。

介護

保険料値上げ・制度改悪に反対の声を上げよう

2015年度、介護保険料値上げが予定されています。基準額で現行4990円から5460円に(現在試算)。「利用料値上げ」「要介護1・2の施設入所排除」は来年度から、「要支援の介護保険外し」は2017年度からと制度はどんどん改悪していく計画です。保険料だけ取られ、介護保険が使えないなんて詐欺同然です。

跡地活用

署名は1万筆! 味舌小跡地売らないで

旧三宅小学校体育館は、子育て総合支援センターの付属として耐震補強が完了しました。一方、旧味舌小学校は、活用についてコンサルタントに調査依頼しています。売却せずに、市民のために活用を求める署名は1万筆を超えています。市民のために活用すべきです。

特区?

健康医療のまちづくり、「医療特区」は要注意!

吹田操車場跡地に、国立循環器病研究センターが移転してくる2018年に向けてまちづくり計画が進行中です。健康医療を前面に押し出した計画は確かに魅力的ですが、一方で「医療クラスター」と呼ばれる産業ゾーンをつくり「国家戦略特区」に組み込もうとする動きもあり、様々な規制緩和が地域医療や市民の暮らしに及ぼす影響は全く不透明です。企業呼び込みのための税の優遇、混合診療の解禁などへ道を開く流れは公的医療保険制度を壊し、いのちと健康を守るための医療を儲け優先にゆがめてしまうことにつながりかねません。

税金

市税等の差押え乱発! …その対応は適切ですか?

「入院中の人の生命保険差押え」「病気で失業している人の不動産差押え」など、市民税等の滞納に対して、摂津市でひどい差押えが相次いでいます。税の徴収よりも、いのちや健康、生活が優先されることは憲法上の理念です。市民の生活をかえりみない差押えは許せません。払いたくても払えない人には納税の猶予などの制度もあります。ひどい差押えでお困りの方は、日本共産党市会議員までご相談ください。



災害

住民の目線で 災害対策の具体化を

摂津市は、この3月に市の災害対策の基本方針である「市地域防災計画」を改定する予定です。摂津市の被害想定は地震と豪雨によるものですが、この間の取組みを土台にして、耐震化促進と共に、防災教育、市職員の対応力など住民の目線で住民と共に具体化することが大切です。

保育

市立正雀保育所の民営化計画 子育て支援、保育の公的責任まもれ!

2016年度に正雀保育所を廃止・民営化しようとしています。公立保育所民営化の拡大について議論してきた子ども子育て会議も、「民営化拡大にあたっての留意点」として、「保護者の意見、希望にも十分耳を傾けその理解を得られるよう努力すること」を教育委員会に求めています。結論ありきの姿勢では、市民の信頼は得られません。



議会改革の論議はじまる

開かれた議会 市民参加の保障 機能強化 の3つの角度から積極的に提案!

議会活動等検討委員会で検討項目を22項目に整理し、順次検討し具体化していきます。はじめは、議会での一問一答方式の導入、インターネット中継、議会だよりの見直しに取り組んでいくことが確認されました。

今年6月スタート デリバリー方式選択制中学校給食

すべての生徒に安全・安心、おいしい給食を! 温かいおかず、量の調整、アレルギー対応、給食代の負担軽減など改善求める!

いよいよ今年6月から中学校給食が「デリバリー方式選択制給食」で始まります。

市教育委員会は、安全・安心を保障するとしていますが、冷たいおかず、量の調整ができない、アレルギー食がない、就学援助金が使えないなど、課題が山積みです。

予約システムの運用方法の周知、栄養教諭や学校現場の体制強化、危機管理体制など不明点や不安が残ります。ひきつづき、自校調理全員給食をめざしつつ、よりよい中学校給食の実現にがんばります。



JR東海は直ちに井戸掘削を中止せよ! 地下水くみ上げ計画は撤回し 環境保全協定を順守せよ!

昨年の11月臨時市議会で、地下水くみ上げ問題をめぐってJR東海と裁判を争うことを全会派一致で賛成しました。

1月30日、大阪地方裁判所で初の口頭弁論がおこなわれましたが、JR東海がおこなった意見陳述はこれまでの摂津市と鳥飼基地との歴史的な関係をまるで踏まえておらず、まさに大企業の横暴・身勝手な言い分といわざるを得ません。引き続き、この問題では市長の立場を支持し市民のみなさんと協力・共同のたたかいを大いに広げて井戸掘削の中止と計画の断念を求めてまいります。

